第九十四百五第　（雨曇水）　夕刊　いわき民報　昭和二十二年三月二日　（一）

いわき民報

発行所　いわき民報社
印刷人　千葉輝子
編集人　巳克己
定価一部七十円　月ヶ一円廿日　但月曜を除く　日刊
平市田町四五番地　電話一八三番

断然多い離婚問題は調停は関係

審判關係は遺言と相續放棄

關係は昨年から未濟分として持越した分が三十件で最近同所の門を潜るもの日に五、六名はあり利用者も段々殖えて來た、うち主なものを揃つて見ると

審判關係では遺言と相續の放棄等が大半で古い慣習に依る長男への遺産相續を望むものが多く長男以外の相續の放棄がこれを物語つている

調停關係は離婚關係が斷然多い、大低の場合は男側に罪ありで別れ上げ者、隊關者復歸者など別居中に夫が新し愛人を作つたのが大半の原因、離婚に依る妻の財産請求は慰謝インフレのお時勢とあつて最高三十万円から最低一万円と云うのが相場、なかには教養の差がはげしいので思想的にも相違し円滿でないから離婚したいと訴えるもの、戸籍上は女でも實際は男だから整理立會いで男の世界へ轉籍したもの各一件づつあつた

一圓に合わぬ新豫算案には

休會中に編成五日ころ再會か

平市議會市會は二十八日午後一時招集の豫定だつたが、新後事參動打合せを協議する

豫算は今度から積式が大幅動するので、到底當日までには間に合はぬため、市では二十八日定例市會として二十二年度追加豫算、市關會建築追加起債、補助住宅關係起債等々の諸件を附議五日ころまで休會としてこの間に編成を急いで再會議提案するものとみられている、なお二十三年度當初豫算は二千四五百万円で一應纒められることゝなろう

瓦製造工場實現へ

過塵錬に計上第一回募集くじの納金に依つて引揚者の更生施設の一つとして平市に五十四万余円で建設されることになつていた瓦製造工場はいよ〳〵早急に實現させることになり、二十二年度加追豫算として計上、二十八日の市會に提案されることに決つた

三町村長を交渉委員に

二十三日市内湯長山に開かれた町村長會議では地方事務所新築に就いての敷地の問題は細田、鹿久、小川三町村長を交渉委員を挙げて平市當局と折衝することになつた

演通り　ブロ

學會　ック視學會

3月1日から　公民講座

磐城文協の主催で磐城文化協會では新民法の普及徹底を期するため、左記日割で三月一日から新民法普及講座を開く、會場は才槌小路石城産業看護婦學校で、毎日午後六時から、受講料は一円五十錢である

◎三月一日新憲法の基本原理と新民法（鈴木光四郎磐女教官）親族法（市井茂緯護士）◎一日農地調整法（椎名勇雄）家事審判法（志蒸、綱等で前に申込んだもの村裁判長）◎三日勞働基準法（花野平勞働基準監督署長）相續法（大嶺輝雄護士）

明聲對反勞働法正改に絶對

會議協區區平磐關官全

全官公職平地區協會は二十三日午國鐵磐上に開き政府復案中の勞働關係法令の改惡案に勞働協約惡惡絶對反對を聲明、二十五日の幹部會にはかり關ならびに軍政府等へ陳情することになつた

金物配給、二十五日から

市では一般家庭用金物の配給を二十五日から釜屋、關原商店、坂田醫助商店の三ケ所で行う、今回の金物は鍋、飯蒸、鍋等で前に申込んだものに配給する

芳しくない徴税成績

營業税下期もあす告知書を

平市では營業税下期分の納入通知書を二十五日一齊に發するがこの附加税に依つて得る市の收入は百七万円である

市の台所は昨年度した營業税前期分附加額百三十万円同じく昨年末發した市民税と今月通知書を發つた同追加税百五万円更に今度の營業税下期分附加税等にたよつているが目下市民税の徴收率は追加分の納入が惡く殊に六割前後、營業税前期分附加税は飲食店關係の未納が

八幡小路に連絡會

下部組織も結成

平市八幡小路では商民の自主的な連絡機關として八幡小路連絡會を結成、會長門馬榮一郎、副會長伊藤考松の兩氏が

押收の小豆配給

あすから米差引で

平食糧配給公團では平署が八日から二十三日まで小荷物列車を急遽押收摘發した小豆百三十俵、大豆三十俵等を二十五日から一般家庭へ米差引きの配給を開始するが、大豆配給は次回とし差當り小豆を一戸平均一㌔配給する

下山田君と加藤孃優勝

郡連青卓球大會

郡連青卓球大會は二十二日内郷町浅野記念館で催さ

性病科

内科

平市鎭田町　矢吹醫院　電828

新發足の内郷自治警察署では最も明朗な自粛を象徴する風會を建設すべく全署員から設計圖案の懸賞募集をする

懸賞募集

設計圖案を

内郷自治警察署

◆診察日　結核、性病、傳染病、其他一般

◆相談日　紅産婦乳幼兒右の診察、相談日を當分の間毎週火、木、金曜日にいたしました

平保健所

ラジオ盗難

二十四日未明二時頃市内田町官舍學校長黒田吉之助さん（五〇）方ではラジオ（ダイナミック五球）毛布二枚その他二點を盗まれた

夏井大越校學藝會

夏井村大越校では二十五日午前九時から學藝會前に給食奬勵會主催の素人演藝會を催す

いわき寸言

◎惡あけの寒さの厳しさ大寒の明け暮れの心地にこそ◎お役人仕事のマダルイことスローモーはお役人の代名詞◎人心も、政局も、國情も不安定、地震の國、火山の國ニッポンの面目躍如たり？

移轉開業案内

奮斗努力の店

八百清

（セイ）

（ヤ）

小名濱町本町六六

偏度ありがとうございます
當店儀左記へ移轉致しました
立を願ひ上げます
加工水産物登錄は是非當店に御投票下さ
いませ

昭和二十一年六月一日
（第三種郵便物認可）　昭和二十三年二月二十五日　いわき民報　水曜日）　第五百四十九號　（二）

平和外交論者
安藤對馬守信正

維新史料、藤澤氏資料による

史談會員　鈴木光四郎

2　安政の平和外交

信正は史實が示しているように一貫した平和外交をその方針とした。德川氏の長年にわたる鎖國政策は時の流れと文明の進歩によってその政策を放棄しなければならない時が來た。嘉永五年十一月米國東印度艦隊司令長官ペリーは軍艦九隻を從えて日本近海を遊戈した。嘉永六年四月には琉球に來り、五月には小笠原列島に立寄り途に嘉永六年六月浦賀に來航、更に米國は東部より太平洋沿岸地方に發展してカルフォルニヤ州の金鑛の發見は大西洋の喜望峰經由によつてした東洋貿易を直ちに太平洋を橫斷してアジヤ大陸に通ずる貿易を望むことも當然であつて、こゝにペリー提督の來航となつたのである。

ここに於て幕府は安政元年八月英國と更に十二月には露國と和親條約を締結し安政二年十二月には和蘭と和親條約を締結した。

以上のような條約の締結は勅許を得なかつたので尊王の志士は攘夷を主張し開港を主張するものと相論爭し世論は沸騰した。

折しも英國の提督シーモアは長崎に來て條約の改訂を幕府に迫つた。

安政五年彦根藩主井伊直弼大老となるや、勅許を待つ事が出來ず、米、英、露、佛、和と俵條約を締結した。そして下田、函館の外に新たに長崎、神奈川、新潟、兵庫の四港を開いて下田港は神奈川開港の後は閉ずることとした。

此の俵條約の締結は櫻田門に於て井伊大老が暗殺され、結果となつた。此の難局に際して安藤信正は老中に任ぜられ外國事務取扱いを命ぜられた。井伊大老の遭難と共に信正はその責任を負つて至難の外交事務に專念したのである。

以下難新史料によつて信正の事蹟を順次に述べることとする。

3　公武合體

信正は幕府の老中に任ぜられ外國事務取扱いを命ぜられた。

當時の政局は尊王攘夷の論が盛んであつて、幕府の威信は地に墜ちんとする有樣であつた。

信正は公武合體の實を擧げ、幕府の威信を回復するには、皇室と幕府とが一體となつて政治を行うことが最も必要であると考えた。

そこで皇室と幕府との間を圓滿にするには、皇妹和宮を將軍家茂の夫人に迎えることが最も適當であると考えた。

和宮は仁孝天皇の第八皇女で、孝明天皇の御妹君であつて、文久元年十月二十日江戸に下向、十一月十五日將軍家茂と婚儀を擧げた。

4　攘夷の決行

和宮の降嫁は公武合體の實を擧げるためであつたが、攘夷論者は和宮の降嫁は幕府が朝廷を威壓して實現したものであるとして、攘夷の決行を迫つた。

文久二年五月將軍家茂は攘夷の決行を奏上するために上洛した。

5　坂下門外の變

文久二年正月十五日信正は登城の途、坂下門外において水戸浪士六人に襲われ、信正は負傷したが、警護の士が防戰したので、浪士は目的を達せずして逃走した。

信正は負傷のため老中を辭し、閉門を命ぜられた。

6　磐城平藩主

文久二年閏八月十日信正は磐城平藩主に轉封を命ぜられた。

信正は磐城平藩主となつてから、藩政の改革に力を盡した。

7　戊辰の役

慶應四年戊辰の役には、信正は奥羽列藩同盟の盟主となつて、官軍に對抗した。

8　晩年

明治二年信正は隱居を命ぜられ、明治十年十月十日病歿した。

9　人物

信正は文武兩道に秀でた人物であつた。

10　結び

信正は幕末の難局に當つて、公武合體の實を擧げ、幕府の威信を回復しようとして努力した。

（完）

私達の職場から

彼女達の言分を聽く

不親切とは酷いお言葉

共産黨は眞ッ平御免です

常磐交通株式會社車掌　武藤愛子（二）さん

バスガール、電話交換手、女教員などと女の職場は實に多いが、何に不滿を持ち何に希望を望んでいることでしょう、さてこゝに「私たちの職場」を掲げて彼女たちの聲を傳え大衆の理解を得たいと思う。

「皆さん！窓口でしょうがお互樣ですからご覽にお詰め願います」―朝から晩までお客の管理と木炭の片附けで獨身的に地方民の足の發展に盡瘁せっせと働く車掌さん―これが武藤さんの職場だった朝一バスガールの待遇は（武藤さん）番の當番だと始發が五時寒いのでエンヂンを暖める都合もありまた三ツ星さまが頭上に十三円、本社の嚴重第一營業である三時半には床を蹴つて出勤する、との日の終了は四時半で晩飯は五時過ぎ、また最終の番に當ると朝は八時過ぎで六時半出勤、夜は七時半の終了で歸宅が八時半全く身心共に疲れ切つての仕事だったこんなに働く車掌さん（大抵の場合）がなぜ偶々「生意氣だ！」と不評を買うのでしょう―武藤さんはこう答える

「私たちは全力をそゝいでいるのにお客樣の中には自分の思うように行ぬから不親切だと良くいはれる人がありますそれはいく十人ものお客へ同時にサービスするのですから特定の氣難しい方にだけ應待する譯には行きかねます、道路上の行列も考えものでしょう、私たちも會社側もどうしたらお客さまに滿足して戴けるかと研究してます、毎月營業上の收支について會社では座談會も開いております」

常磐交通のバスは五十一輛これを切廻す車掌が四十四名で約二十名の不足を來たしている、この惡條件下で立働くバスガールの苦勞は實に大變なものである。

◎職場の悲喜―嬉しい事はなんと言つても親切だと褒められること、上遠野、湯長の兩線は農村だけにお餅やサツマ藷のご馳走が一寸あるが湯本、好間兩線はせいぐ出るのは文句位で一般に氣が荒く不親切、新入者の二人であつた、その際に現に各黨派の首領常員の實施と修理

投書

投書を歡迎す要望批判結構紙上とく名可

意外なり

吉田首班

◇過日片山內閣總辭職後市民の輿論の的であつた次期の首班について八割の大半は自由黨吉田首班のもとに組閣されるものと思つたが如であろう、然るに昨日ラジオニュースの發表によると民主黨あし田首班のもとに組閣決定と耳にしたことはあまりにも意外極まる事と驚いた

◇私は過日本市公會堂に於て民主黨石城部會結成式の傍聽

いよ〳〵發賣！

磐中同窓會員名簿

四六版二三八頁、一部百五十圓（在校生、死亡會員、準會員各壹圓）

十三年振りで出來ました部數に制限あり至急御申込下さい

◇申込所　本郡前常磐交通會社內　同窓會長　野崎喜八郎

編集委員長　森　正一

各種ミシンの販賣と修理

平和通り　三浦商會ミシン部　電八　六四番